

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
専門学校 岡山情報ビジネス学院		昭和61年7月26日		学院長 三村 光		〒 700-0024 (住所) 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話) 086-224-2336	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人 三友学園		昭和61年7月26日		理事長 野津 基弘		〒 700-0024 (住所) 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話) 086-224-2336	
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士
工業	工業専門課程		ネット・動画クリエイター学科			平成15年2月19日 文部科学省告示	—
学科の目的							
ホームページ制作の基礎から応用、動画制作の領域まで、ネットビジネスを支えるスキルや知識を幅広く修得。実践的なカリキュラムで、現場の即戦力としてWeb業界で活躍できる人材を育成する。							
認定年月日							
平成28年2月19日							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1732	448	795	654	0	0
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人		83人		0人	3人	6人	9人
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～翌年3月31日			成績評価	■成績表: 有		
					■成績評価の基準・方法		
					評価の基準: 成績評価はS、A、B、C、Dの4段階科目		
評価の方法: 終了時に試験、レポート等で評価							
長期休み	■夏 季:8月9日～8月27日 ■冬 季:12月24日～1月10日 ■学年末:2月5日～3月11日			卒業・進級 条件	卒業要件:①必修科目及び選択必修選択科目の成績がC評価以上 ②出席率90%以上 ③卒業基準検定の取得 進級要件:①必修科目及び選択必修選択科目の成績がC評価以上 ②出席率90%以上		
学修支援等	■クラス担任制: 有			課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 新入生歓迎会、スポーツ大会、学園祭、研修旅行		
	■個別相談・指導等の対応 電話連絡、保護者面談、家庭訪問等				■サークル活動: 有		
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) モチヤ(株)、(株)EIGHT、(株)STUDIO ARC、(株)クレイジー・ティビィ、(株)ジールプラス、(株)システムタイズ、(株)ティ・シー・シー、(株)ドックス、(株)メンバーズ、萩原(株) 他			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)		
	■就職指導内容 担任教師とキャリアサポート室が連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。						
	■卒業者数 42 人						
	■就職希望者数 39 人						
	■就職者数 39 人						
	■就職率 100 %						
	■卒業者に占める就職者の割合						
	:				93 %		
	■その他						
	・進学者数: 1人						
・動画配信活動							
					※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 なし		
(令和 4 年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)							
中途退学 の現状	■中途退学者 10 名 ■中退率 11 % 令和4年4月1日時点において、在学者 9 2 名 (令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者 8 2 名 (令和5年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 経済的問題 学校生活への不適合						
	■中退防止・中退者支援のための取組 定期ガイダンスの実施、クラス行事・学校行事への参加、家庭との連携等						
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 OIC特別奨学金制度(本校入学者を対象に実施)、後期授業料免除制度(本校入学後、所定の条件を満たす者を対象に実施) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 2名						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 専門職高等教育質保証機構 受審年月: 平成31年2月 評価結果を掲載したホームページURL https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/2019.pdf						

当該学科の ホームページ URL	https://www.oic-ok.ac.jp
------------------------	--------------------------

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

顧客のニーズを満足するWebサイトの制作ができる技術力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、ディレクション能力を備えた実践的なWebデザイナーを育成するため、最新のWeb マーケティング手法やサイト設計方法・最新デバイスの動向、映像広告に知見のある方々に教育課程編成委員を依頼し、その実情と求められるスキル等について意見や提案をいただき、カリキュラムの追加や内容更新、教材作成・授業計画等に反映させる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

実践的なWeb サイトを制作するために、コミュニケーションをとることができ、自ら学び、成長していける人材を育成するために、Web関連企業及び、岡山情報ビジネス学院関係者で構成された「教育課程編成委員会」を岡山情報ビジネス学院内に設置する。年間2回以上開催される委員会にて教育課程の編成に向けた意見・助言等を受け、カリキュラム等の改善・工夫を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年6月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
久保田 浩二	特定非営利活動法人ITC岡山 理事長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
山下 秀男	株式会社イケル 代表取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
ムラカミ ヨシコ	アッパービレッジ有限会社 代表取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
中上 篤	専門学校 岡山情報ビジネス学院 ネット・動画クリエイター学科 学科長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、1月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年9月22日 16:00～17:30

第2回 令和4年1月30日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

求める人物像をたずねた。「積極的に学ぼうとする人」「困った時にちゃんと質問する人」がほしい。長期的に深く考える経験を付けてほしい。粘り強く続けること。なかなかうまく行かなくても、代替案をしっかりと考えて乗り越えてゆく。そこに達成感を感じる学生をどうやって育てるかが教育の課題だと思う。

どれも、本校が大事にしている人間性教育である。キャリア実習や連携授業など社会との接点のタイミングで掴める様に導く。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

Web上での効果的な広告媒体として、動画広告に注目が集まっている今、それらに対応すべく即戦力となる人材を育成するため、実際に動画広告を提供していただける企業を選定し、現場で施設運営として実務に就かれている方から、動画広告案件のヒアリングから制作助言、学生作品へフィードバックをいただくことができる体制をとる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業科目の担当教員と連携企業の講師が事前に授業内容と目的、段階的にスキルアップできる実習課題について打ち合わせを行い、スケジュールを作成する。前期は担当教員より広告計画や映像制作スキルについて、基礎的な内容の講義と実習を行い具体的な演習を行う。後期は連携企業と複数回のヒアリング会をおこない(オンライン)、動画広告制作の進捗確認やチームで仕事を進めるうえでのアドバイス・指導・改善および最終評価をいただく。連携授業内容は、施設内で上映する星座にまつわる映像コンテンツ、会場紹介コマーシャル映像、上映前諸注意映像など、案件ごとにチームに分かれ制作を行う。制作後は、現場の方からコメントをいただき、成果確認を実施して今後の制作に活かす。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
WebアクセシビリティⅠ	Webアクセシビリティの基本的な考え方を学び機械も人間もアクセスしやすいサイトを制作するための知識を習得する。	株式会社ミツエーリンクス
合同制作Ⅰ	企業と連携し、学科内の学年の枠を越えて、制作とプレゼンテーション力を身につける。	岡山県警 サイバー犯罪課
キャリア実習	就職活動を控え、実社会での経験を積むことで就業イメージの形成を図る。また、学習内容の実践的活用力を身につける。	アッパービレッジ有限会社、株式会社アドボックスフォトグラフィ、有限会社バサラ、玉島テレビ放送、株式会社ジールプラス
WebアクセシビリティⅡ	Webアクセシビリティの基本的な考え方を学び機械も人間もアクセスしやすいサイトを制作するための知識を習得する。	株式会社ミツエーリンクス
合同制作Ⅱ	企業と連携し、学科内の学年の枠を越えて、制作とプレゼンテーション力を身につける。	岡山県警 サイバー犯罪課

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教員の資質向上や専門分野の知識向上を目的とし、学内研修・学外研修・自己啓発研修等の年間研修計画を立て、学科教員が受講する。また、研修受講後は、研修報告書の作成と他関係者に対する研修内容の共有を行う。		
(2)研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	ブラックマジックデザインウェビナー	連携企業等: 株式会社玄光社
期間:	令和5年3月14日(火)16:00～18:00(Youtubeにて後日拝聴)	対象: 鈴置 勝信
内容	現在のビデオ制作環境について、オンライン編集などもふくめた最新環境の紹介と理解。撮影・収録・配信や、アーカイブ編集、クラウド連携、リモートカメラなどの最新ワークフローの仕組みを理解する。	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	アセスメントと評価活動の実践～専門学校用の教材等を用いた設問の作り方～	連携企業等: 一般社団法人 全国専門学校教育研究会
期間:	令和4年10月6日(木)13:00～17:00	対象: 専門学校教師
内容	一般社団法人 全国専門学校教育研究会は、全国の専門学校が教育の成功事例や取り組みなどを共有し、より専門性の高い教育を目的とした一般社団法人で、研修会を通して情報交換や教員のレベルアップを図っている。本校もこの研究会に加盟しており、他校との情報交換や教師のレベルアップを図っている。今回の研修では、学習者の学修成果を適切にアセスメントすることと、それらの情報を含めて教育活動を適切に評価することが必須となり、実際に各教員が現場で使用しているテスト問題等を題材として、ブラッシュアップしていくことで実践的な評価手法を体系的に学ぶ研修である。	
研修名:	学習評価講座	連携企業等: 一般社団法人 全国専門学校教育研究会
期間:	令和5 年1月12日(木)13:00～17:00	対象: 専門学校教師
内容	一般社団法人 全国専門学校教育研究会は、全国の専門学校が教育の成功事例や取り組みなどを共有し、より専門性の高い教育を目的とした一般社団法人で、研修会を通して情報交換や教員のレベルアップを図っている。本校もこの研究会に加盟しており、他校との情報交換や教師のレベルアップを図っている。今回の研修では、学習評価に関する基礎知識を習得し、その必要性・重要性を知ることが目的の研修である。	
研修名:	若者の「社会化」を支える専門学校	連携企業等: 一般社団法人 全国専門学校教育研究会
期間:	令和5年2月15日(水)13:00～15:30	対象: 専門学校教師
内容	一般社団法人 全国専門学校教育研究会は、全国の専門学校が教育の成功事例や取り組みなどを共有し、より専門性の高い教育を目的とした一般社団法人で、研修会を通して情報交換や教員のレベルアップを図っている。本校もこの研究会に加盟しており、他校との情報交換や教師のレベルアップを図っている。今回の研修では、学習評価をする上で、在校生を含め若者たちの世界観を知り、どう対応をしたらいいのか、評価基準について等、高校生の現状を含めて専門学校の位置づけや使命についての知識を深めることを目的とした研修である。	

(3) 研修等の計画		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	After Effects 講座「インフォグラフィックス編」	連携企業等: 株式会社Vook
期間:	令和5年7月21日(金)20:00～21:30(オンライン参加)	対象: ネット・動画クリエイター学科教員
内容	業界標準ツールのAfterEffectsを使っのモーショングラフィックス講座。人目を引くモーショングラフィックスき欠かせない基礎知識や、モーショングラフィックス業界のトレンド情報を吸収する。	
研修名:	チーム全員でUIデザイン 今日からはじめるFigma入門 2	連携企業等: Doorkeeper株式会社
期間:	45094	対象: Webデザイナー
内容	Webブラウザ上で動くデザインツールのFigmaについて、基本的な操作方法を解説。さらに、共同編集をいかに活用し、デザイン制作をするかをリアルタイムで実践してみれる。デザインの前の段階(ブレインストーミング)にはFigJamを活用します。	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	ICT活用研修	連携企業等: 一般社団法人 全国専門学校教育研究会
期間:	令和5年8月予定	対象: 専門学校教師
内容	一般社団法人 全国専門学校教育研究会は、全国の専門学校が教育の成功事例や取り組みなどを共有し、より専門性の高い教育を目的とした一般社団法人で、研修会を通して情報交換や教員のレベルアップを図っている。本校もこの研究会に加盟しており、他校との情報交換や教師のレベルアップを図っている。今回の研修では、ICTを活用して、授業の効率化と学びの質向上を図ることを目的とした研修である。	
研修名:	学習評価 応用編	連携企業等: 一般社団法人 全国専門学校教育研究会
期間:	令和5年12月予定	対象: 専門学校教師
内容	一般社団法人 全国専門学校教育研究会は、全国の専門学校が教育の成功事例や取り組みなどを共有し、より専門性の高い教育を目的とした一般社団法人で、研修会を通して情報交換や教員のレベルアップを図っている。本校もこの研究会に加盟しており、他校との情報交換や教師のレベルアップを図っている。今回の研修では、昨年度受講した学習評価に関する基礎知識の応用編の研修である。	
研修名:	休退学防止に向けて心理学的対応について	連携企業等: 一般社団法人 全国専門学校教育研究会
期間:	令和6年3月予定	対象: 専門学校教師
内容	一般社団法人 全国専門学校教育研究会は、全国の専門学校が教育の成功事例や取り組みなどを共有し、より専門性の高い教育を目的とした一般社団法人で、研修会を通して情報交換や教員のレベルアップを図っている。本校もこの研究会に加盟しており、他校との情報交換や教師のレベルアップを図っている。今回の研修では、今専門学校でも問題となっている退学者の増加について退学者を防止するにあたり、心理学的な対応方法を教師が修得することを目的とした研修である。	

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、学校関係者として卒業生、保護者とともに企業等による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める。また、本校の教育方針である「即戦力となる人材育成」「ビジネスマンにふさわしい人格形成」「ニーズに対応したカリキュラム」に基づき、地域社会に貢献できる人材の育成に結び付けるために、関係者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受け入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の順守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	現在はありません

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

担任制、卒業生の社内での評価などは、良い評価をいただいたので、今後も退学防止などの課題に取り組んでいく。特に、教師の力量による差が、退学、就職などすべてに影響するため、その差を解消できるように教員研修を継続する。また、非常勤教師の採用も行い、学生サービスの充実を図る。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
守井 照久	税理士法人創明コンサルティング・ブレイン 代表社員	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
早崎 律貴	スマートスケープ株式会社 VX事業部 開発 部 部長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生・ 企業等委員
石崎 公生	株式会社アドボックスフォトグラフィ 代表取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	PTA
山本 渉	医療法人和香会 倉敷スイートホスピタル 運 営企画室 室長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
豊田 東	岡山国際ホテル 総支配人	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
佐藤 新之助	株式会社イトン イートンちどり保育園 取締 役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
真鍋 洋志	菅公学生服株式会社 総務戦略本部 本部長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
山下 秀男	株式会社イケル 代表取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
北牧 涼輔	株式会社ペンギンファクトリー 代表取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
浦谷 友章	自衛隊香川地方協力本部 東讃地区隊長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	企業等 委員
畑 嘉昭	株式会社トスコ 専務取締役	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	企業等 委員
芳原 慶真	コーセーエンジニアリング株式会社 総務課長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: URL:https://oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/02--new.pdf

公表時期: 平成34年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針やキャリア教育、職業教育をはじめとした教育活動等の状況を提供する。また、それぞれの学科の目標検定や就職実績についても情報を提供し、公的な認可を受けた教育機関として誠実な対応を行い、説明責任を果たす。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	OICの教育方針、心の推進プロジェクト、プライバシーポリシー(個人情報保護方針)
(2)各学科等の教育	目指す業界・職種、目指す資格と資格取得実績、就職実績、カリキュラム
(3)教職員	教職員数、教員の組織、教員の専門性、教職員の研修
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取り組み支援、企業等との連携による取組・キャリア教育
(5)様々な教育活動・教育環境	教育活動・校舎、施設紹介、学校行事、課外活動
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況(スクールカウンセラー)
(7)学生納付金・修学支援	学納金、独自の奨学金制度・学費支援制度
(8)学校の財務	財務状況
(9)学校評価	学校評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	現在はありません
(11)その他	現在はありません

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.oic-ok.ac.jp/>

公表時期: 平成34年6月1日

授業科目等の概要

(工業専門課程ネット・動画クリエイター学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			ビジネス実務Ⅰ	就職活動のプロセスの理解を深め、具体的な行動を起こせるよう自主性を身につける。	1前期	47	3	○			○		○		
2	○			ビジネス実務Ⅱ	基本的なビジネスマナーについて社会人常識力検定を通じて習得する。	1後期	57	3	○			○		○		
3	○			ペン字	履歴書やビジネス文書等で書く文字バランスを身につける	1後期	15	1	△	○		○			○	
4	○			Illustrator 演習基礎	デザインに必要な技術やアプリケーション知識を習得する。(Illustratorクリエイター能力認定試験 スタンダード)	1前期	53	3		○	△	○		○		
5	○			Illustrator 演習応用	デザインに必要な技術やアプリケーション知識習得、また応用分野へ活用する。(Illustratorクリエイター能力認定試験 エキスパート)	1後期	20	1		○	△	○		○		
6	○			Photoshop 演 習基礎	デザインに必要な技術やアプリケーション知識を習得する。(Photoshopクリエイター能力認定試験 スタンダード)	1前期	54	3		○	△	○		○		
7	○			Photoshop 演 習応用	デザインに必要な技術やアプリケーション知識習得、また応用分野へ活用する。(Photoshopクリエイター能力認定試験 エキスパート)	1後期	36	2		○	△	○		○		
8	○			色彩概論	デザインにおける色彩の知識を習得する。(色彩検定3級)	1前期	45	3	○			○			○	

9	○		Web マーケティング実習	マーケティング手法の基本知識を学び、演習へ活用する。	1 後期	48	1	△		○	○			○	
10	○		カメラ実習	写真の撮影から加工の技術・知識、Webサイトにおける商品写真の撮り方などを習得する。	1 前期	45	1		△	○	○			○	
11	○		マルチメディアリテラシー	インターネットの必須常識、知識の習得する。(マルチメディア検定ベーシック)	1 前期	30	2	○			○			○	
12	○		HTML・CSS演習 I	マークアップの基本を習得する。(Webクリエイター能力認定試験：スタンダード)	1 前期	52	3		○	△	○				○
13	○		Web アクセシビリティ I	Webアクセシビリティの基本的な考え方を学び機械も人間もアクセスしやすいサイトを制作するための知識を習得する。	1 後期	28	1	○			○			○	○
14	○		Web デザイン実習基礎	Webデザイン制作の基礎を学びお客様の想いをカタチにできるよう学習する。	1 通年	62	2			○	○				○
15	○		HTML・CSS演習 II	マークアップの基本を習得する。(Webクリエイター能力認定試験：エキスパート)	1 後期	60	4		○	△	○				○
16	○		動画制作実習基礎	動画の制作実習を通して自身の表現手段を増やす力を習得する。(文字、イラスト、写真 + 実写動画、3DCG動画)	1 後期	41	1			○	○			○	
17	○		HTML制作演習 I	HTMLを使用しての構造的なコーディング、CSSでの装飾だけでなく、動きのあるWebサイト制作の実装を学習する。	1 後期	28	1		○	△	○				○
18	○		グラフィックデザイン I	地図、サイン、グラフなど、さまざまな媒体のデザインを学ぶ。	1 後期	26	1		○	△	○				○

19	○		合同制作Ⅰ	企業と連携し、学科内の学年の枠を越えて、制作とプレゼンテーション力を身につける。	1 後期	30	1			○	○		○		○
20	○		キャリア実習	就職活動を控え、実社会での経験を積むことで就業イメージの形成を図る。また、学習内容の実践的活用力を身につける。	1 後期	80	2			○	○		○		○
21	○		ビジネス実務Ⅲ	実社会で求められる挨拶や立ち居振る舞い等を実践も踏まえて習得する。	2 前期	46	3	○			○		○		
22	○		ビジネス実務Ⅳ	社会人としてすぐに働くことを想定したマナー・考え方・一般常識の習得する。	2 後期	35	2	○			○		○		
23	○		ビジネスアプリケーション	企業で利用されているビジネスアプリケーション、Excelの知識・技能を習得する。	2 前期	32	2		○	△	○		○		
24	○		CMS演習	PHPを使用したWordPressを中心にCMSを作成、テンプレートを使用しての作成を行えるスキルを身につける。	2 後期	32	2		○	△	○		○		
25	○		動画制作実習応用	現代のWeb広告で欠かすことのできない動画広告について、実際の撮影技術実習を通じて、その仕組みを学ぶ。	2 前期	##	3			○	○		○		
26	○		企画プレゼンテーション	アイデアを他者に伝えるための技法について、講義と体験を交えて習得する。	2 後期	30	2		○	△	○		○		
27	○		グラフィックデザインⅡ	企業ロゴを制作し、名刺・封筒・チラシ制作の実習を通じて、グラフィックソフトに慣れ、郵便規約を学ぶ。	2 前期	36	2		○	△	○			○	
28	○		WebアクセシビリティⅡ	Webアクセシビリティの基本的な考え方を学び機械も人間もアクセスしやすいサイトを制作するための知識を習得する。	2 前期	30	2	○			○			○	○

29	○			HTML制作演習Ⅱ	HTMLを使用しての構造的なコーディング、CSSでの装飾だけでなく、動きのあるWebサイト制作の実装とレスポンス対応の習得。	2前期	32	2		○	△	○			○	
30	○			Webデザイン実習応用	UI設計からビジュアルデザイン、構築までを行う実制作を繰り返し、総合的なサイト制作の力を身につける。	2通年	68	2			○	○			○	
31	○			Webマーケティング	マーケティング手法の基本知識を学び、ネットマーケティング検定の取得を目指す。	2通年	68	4	○	△		○			○	
32	○			Webディレクション	Webサイトを制作する際に、制作スタッフをまとめプロジェクト全体の進行管理・品質管理をするための技法を学ぶ。	2前期	64	4		○	△	○			○	
33	○			合同制作Ⅱ	企業と連携し、学科内の学年の枠を越えて、制作とプレゼンテーション力を身につける。	2後期	30	1			○	○			○	○
34	○			エディトリアルデザイン	クラス誌制作。カメラの授業で撮影した写真も使用し、学生に企画編集の力を身につける。	2後期	60	4		○	△	○			○	
35	○			卒業研究Ⅰ	2年間の集大成として、実社会で使われることを想定した制作物の企画立案を行う。情報収集・分析・企画と実務に近い形で制作進行体験することで、社会に出る力を養う。	2後期	42	1			○	○			○	
36	○			卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅰで制作したものを掘り下げ、最終成果物としての昇華を目指す。また、併せて外部への発表も行い、研究を通じて社会へ働きかける力を身につける。	2後期	94	3			○	○			○	
37	○			情報整理学	情報を整理する、視覚化することで、新たな発想を生み出すための手法について学ぶ。アイディアの導き方、発想のまとめ方についてマインドマップなどのツールを使用して、演習を交えて学習する。	2前期	32	2	○		△	○			○	
38	○			ライフデザイン学	自身のルーツを振り返り、自己・他者と対話を繰り返すことで、主体的に将来（人生（ライフ）／自己実現／生き方）を設計する力を身につける。	2後期	15	1	△	○		○			○	

39		○		医療事務概論	人体の仕組みと代表的な病気の予防について理解し、健康管理の基礎や簡単な保険請求を学ぶ	2 後 期	15	1	△	○		○		○	
40		○		ビジネスリテラシー	ビジネスに関連する法律や論理的な判断推理の学習を通じて、ビジネスに役立つ業務におけるリスクを学ぶ	2 後 期	15	1	○			○		○	
41		○		デザイン入門	書類やスライドなど、どの業界に出ても必要となるデータ作成上で必要となるデザインについての基礎的知識を身につけ、実践する	2 後 期	15	1	△	○		○		○	
42		○		HP動画	HPや動画を制作するための基礎的な知識やセンスを身につける。	2 後 期	15	1	△	○		○		○	
43		○		音楽	日本に伝わる四季折々の歌や世界に広がる歌を歌いながら楽器や身体、絵に描く等、表現力を高め感性を豊かにする。	2 後 期	15	1	△	○		○			○
44		○		RPA実習	作業自動化ツールであるRPA(Robot Process Automation)の構築を題材に、プログラムの思考力を養う	2 後 期	15	1	△	○		○		○	
45		○		Excel・データ分析	Excelを使ったデータの活用、集計、分析方法の基礎知識について学ぶ	2 後 期	15	1	△	○		○		○	
46		○		応用文章技能	文章を書くための素材を集めるポイントや文章の構成などを講義するとともに、毎回、テーマに即した文章を書くこと（添削あり）を通じて、実践的な文章技能の習得を目指す。	2 後 期	15	1		○		○		○	
47		○		フラワーアレンジメント	ブーケ、ブートニア、ヘッドフラワー、会場装花を製作する。	2 後 期	15	1	△	○		○			○
48		○		世界事情	グローバル化の時代、将来国内外問わず、外国人とともに仕事することを念頭に、テーマ別国際事情の講義とグループワークやディスカッションを通して、国際的視野を身につける。	2 後 期	15	1		○		○		○	

49		○		ビジネス英語	ビジネスの場で簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身に付ける。	2 後期	15	1	○	△		○		○	
50		○		ペン字上級	1年生で学んだ美しい文字を書くことの大切さをより深く理解する。ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本点画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形（行書体も含む）を学ぶ。また、筆ペンの使用も学ぶ。	2 後期	15	1	△	○		○		○	
合計						39 科目	82(1732) 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法					授業期間等	
卒業要件： ①必修科目及び選択必修選択科目の成績がC評価以上 ②出席率90%以上 ③卒業基準検定の取得					1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 【No. 1-20】 1 年次履修科目 39単位(857単位時間) 20科目 【No.21-50】 2 年次履修科目 43単位(875単位時間) 19科目					1 学期の授業期間	16 週

- (留意事項)
- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
 - 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。